

Nowden DE サツマイモ

農電製品とサツマイモのコラボレーション

- ✓ 農電ケーブル → サツマイモの育苗
- ✓ 園芸ケーブル → サツマイモのキュアリングと貯蔵
- ✓ 農電デジタルサーモ → 苗床や貯蔵庫内の温度を自動で管理。

■ 農電キュアリング貯蔵のメリット

- ✓ 低コストです。
初期費用もランニングコストも安価です。
- ✓ 収益が上がります。
高品質で糖度が高いサツマイモを出荷することで、高い収益が得られます。
- ✓ 貯蔵率が上がります。
サツマイモが苦手な乾燥した風を出さず、貯蔵庫内の空気を汚しません。



※ サツマイモは収穫後も呼吸をしています。
収穫後の処理と貯蔵次第で翌年までの長期間、出荷ができ収益が上がります。

冷蔵庫を利用した貯蔵方法

■ 約10坪（幅3.0m×長さ10.0m×高さ3.0m）の場合

電源：三相200V

- ✓ 園芸ケーブル 3-530(500W・30m) × 4組
- ✓ 農電デジタルサーモ ND-920 × 1台
- ✓ ガイシ × 約260個

※条件

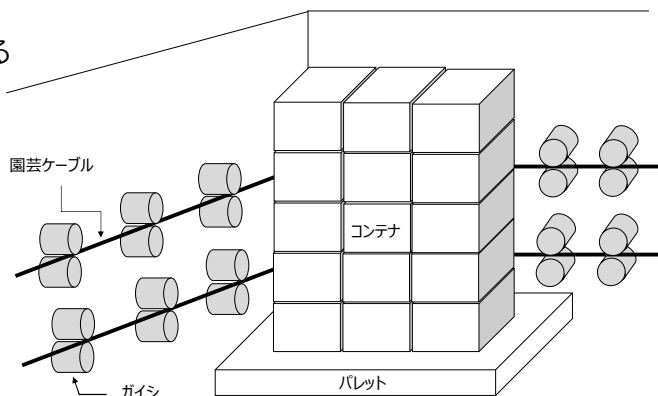
冷蔵庫を貯蔵庫として使用。

貯蔵庫内の温度を13°C前後に加温できます。(周囲温度0°C)

なお、貯蔵庫のサイズおよび断熱性能により、必要電力は変わります。

設置手順（右図参照）

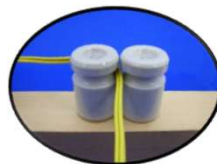
- ✓ 貯蔵庫の壁面に園芸ケーブルを支持するためのガイシを約1m間隔で取り付け。
- ✓ 園芸ケーブルを壁に2組ずつ配線する。
 - 床上50cmから上に約15cmの線間隔。
 - 1組につき3条配線。
- ✓ 貯蔵庫の床にパレットなどを置き、サツマイモの入ったコンテナを積む。
- ✓ 農電デジタルサーモで温度管理する。



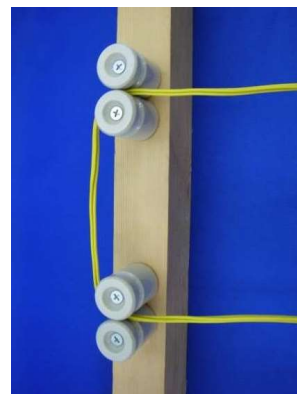
園芸ケーブル配線図

■ 配線のポイント

- ✓ 必ずガイシを使って発熱線を支持します。
- ✓ ガイシの間隔は1m以内。
- ✓ 線間隔は必ず3cm以上離します。
- ✓ 発熱線は可燃物や造営物に接触しないこと。



壁面にガイシを固定し、園芸ケーブルを配線。



日本ノーデン株式会社

Tel: 03-3861-6331 Fax: 03-3864-7144

ビニールハウス内での貯蔵方法

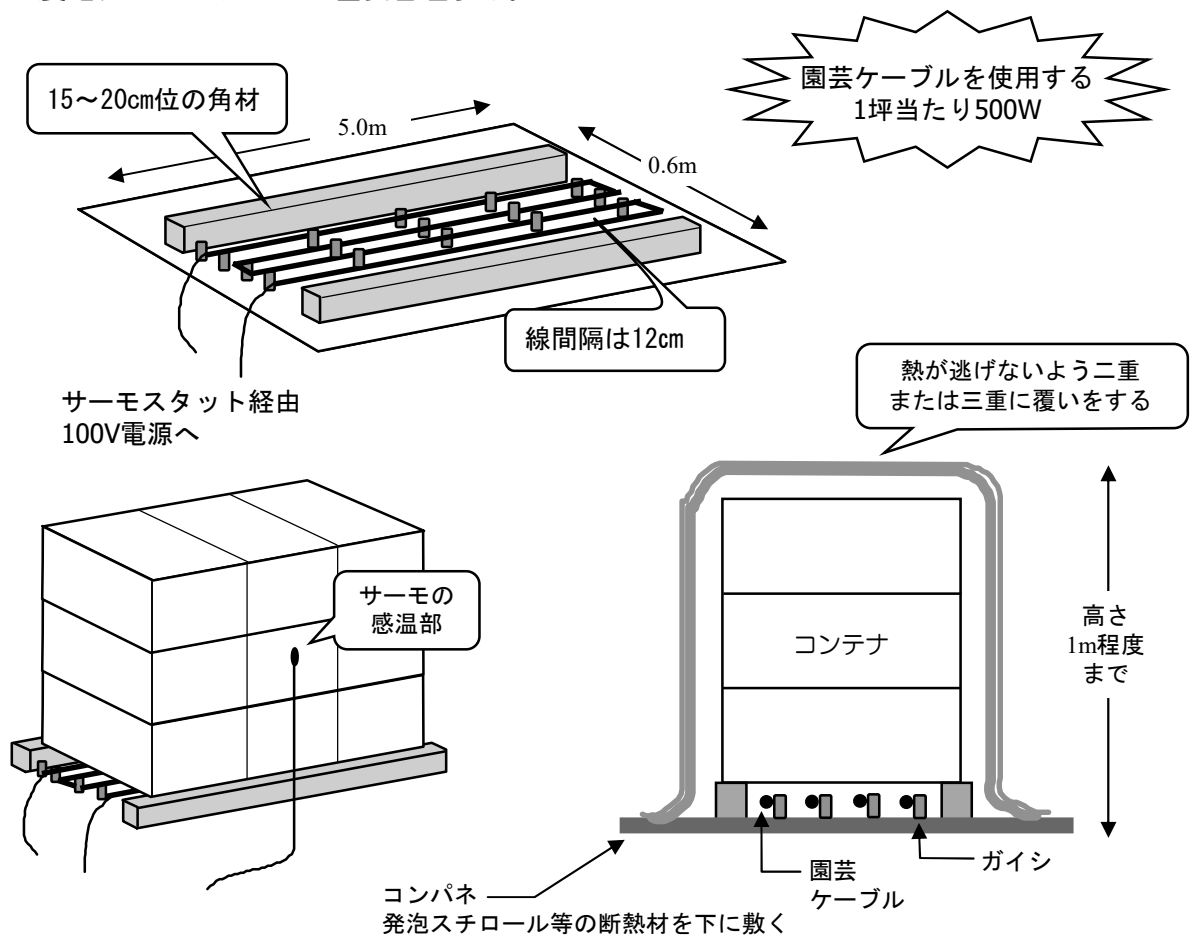
■約1坪（幅0.6m×長さ5.0m×高さ1.0m）の場合

電源：単相100V

- ✓ 園芸ケーブル 1-50020(500W・20m) × 1組
- ✓ 農電デジタルサーモ ND-910 × 1台
- ✓ ガイシ × 約50個

設置手順（下図参照）

- ✓ ビニールハウスの中に断熱材を敷き、その上にコンパネを置き、その上に角材（古い柱など）を2本ならべる。
- ✓ コンパネに園芸ケーブルを支持するためのガイシを1m間隔で取り付ける。
- ✓ 園芸ケーブルを配線する。（線間隔は約12cm）
- ✓ 角材の上にサツマイモの入ったコンテナを積み、覆いをする。
- ✓ 農電デジタルサーモで温度管理する。



日本ノーデン株式会社

Tel: 03-3861-6331 Fax: 03-3864-7144

空中配線／使用上のご注意

必ずお守りください

■配線方法

- ✓ 必ず絶縁性・難燃性・耐水性のあるガイシ等を使用してください。
- ✓ 支持間隔は1m以下・線間隔は3cm以上で配線してください。
- ✓ 周囲温度は50℃以下で使用ください。



■使用電圧（V）を間違えない。

使用前に必ず製品表示の電圧と使用電圧を確認して下さい。間違えると火災事故の原因となります。



■切ったり、つないだりしない。

園芸ケーブルは規格ごとに長さが決まっています。配線の都合により「切ったり」「つないだり」すると火災事故の原因となります。



■空中配線にはガイシを使用する。

空中配線する場合、必ずガイシを使用して配線してください。発熱線が可燃物や金属（ビニール被覆含む）などと接触していると、火災事故の原因になります。



■発熱線と発熱線が接触しない。

発熱線と発熱線が接触していると火災事故の原因になります。常時3cm以上離れるように配線してください。特に把のまま通電すると、数分で発火します。



■可燃物や造営物に発熱線が接触しない。

園芸ケーブルは通電により伸縮します。可燃物や造営材から常時3cm以上離れるよう、配線してください。可燃物や造営物との接触は、火災事故の原因になります。



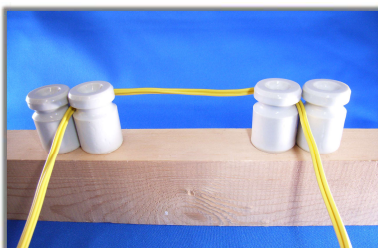
■キンク（よじれ）は、ほぐして使い被覆を損傷させない。

配線時にキンクができれば、ていねいにほぐして使って下さい。キンク状で使うと断線する場合があります。また被覆を傷つけると、漏電し火災事故の原因になります。



■漏電ブレーカの設置。

電気設備には漏電ブレーカの設置が義務付けられています。必ず漏電ブレーカを設置してください。



日本ノーデン株式会社